

正答（例）【中学校数学B】

1 (1) 2 (エクササイズ)

$$(2) \begin{cases} 4x + 6y = 9 \\ x + y = 2 \end{cases}$$

(バドミントン) $\frac{3}{2}$ (時間), (軽いジョギング) $\frac{1}{2}$ (時間)

(3) ウ

説明 (例) 身体活動量が一定のとき、身体活動の強度と運動の実施時間は反比例の関係にある。よって、卓球の強度の2倍である水泳であれば、運動の実施時間を半分にしても身体活動量は変わらない。

2 (1) (例) ① 3 ② 5 ③ 7 ④ 15

(2) (例) $3(2n + 1)$

$2n + 1$ は自然数だから、 $3(2n + 1)$ は3の倍数である。

したがって、連続する3つの奇数の和は、3の倍数である。

(3) (例) 連続する4つの奇数の和は、8の倍数になる。

3 (1) オ

(2) (例) 3つのグラフの中で、 x の値が35のときの y の値が最も小さいグラフで表された店を選ぶ。

4 (1) (例) $\angle BAE = \angle CAD$

(2) (例) 仮定から、

$$AB = AC \quad \dots\dots ①$$

$$AE = AD \quad \dots\dots ②$$

対頂角は等しいので、

$$\angle BAE = \angle CAD \quad \dots\dots ③$$

①, ②, ③より、

2辺とその間の角がそれぞれ等しいから、

$$\triangle ABE \equiv \triangle ACD$$

5 (1) 長方形

(2) (例) 2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい四角形は、平行四辺形である。

6 (1) (例) 厚紙が封筒の端ABと重なる部分の長さが長くなる前後の直線の傾きを比べると、後の直線の傾きの方が前の直線の傾きよりも大きい。

(2) ウ